

報道発表資料

相談解決のためのテストから No. 117

平成 29 年 12 月 21 日
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

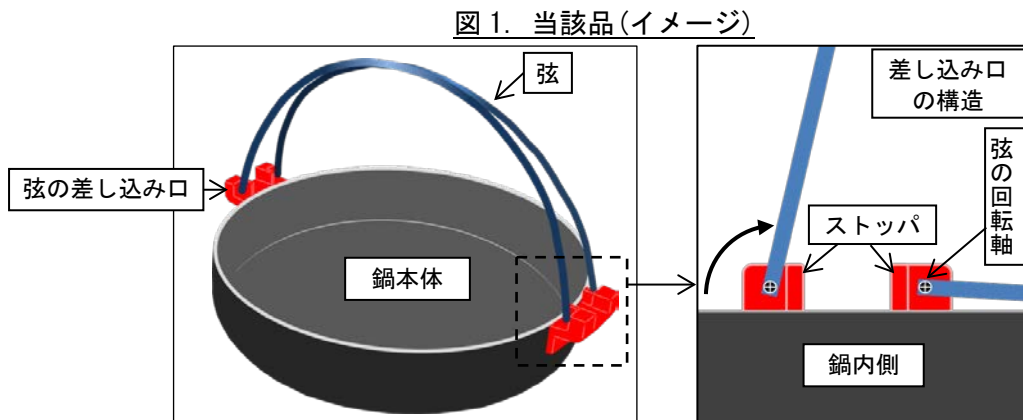
すき焼き鍋の持ち運びに注意

1. 依頼内容

「すき焼き鍋の 2 本の弦(つる)を 1 本ずつ手で持って運ぼうとしたところ、鍋が傾いて中身がこぼれてやけどを負った。商品に問題がないか調べてほしい。」という依頼を受けました。

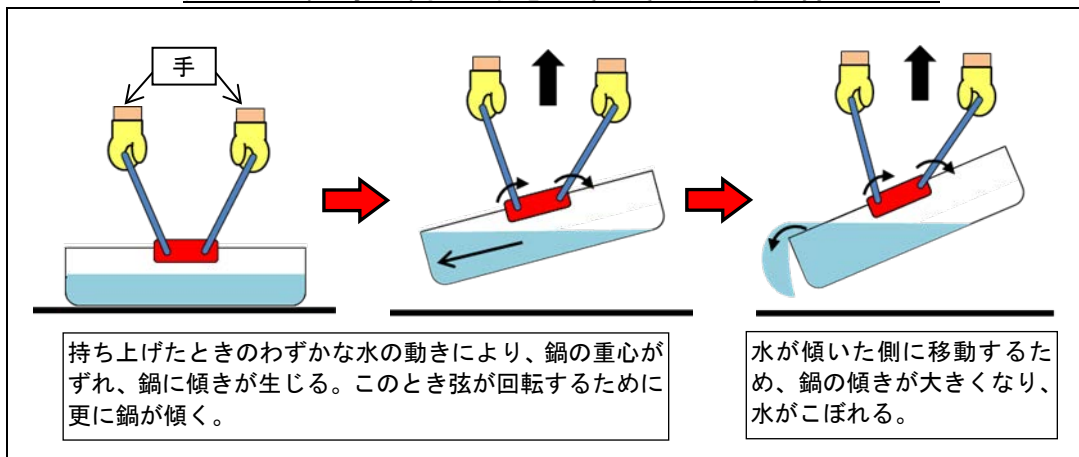
2. 調査

当該品は 2 本の弦が持ち手になっているすき焼き鍋です。外観調査を行った結果、鍋本体の側面 2 カ所には 2 本の弦を鍋に接続するための差し込み口がありました。また、差し込み口には弦の可動範囲を制限するストッパが設けられており、弦が垂直を大きく越えて反対側まで倒れないようになっていました(図 1)。



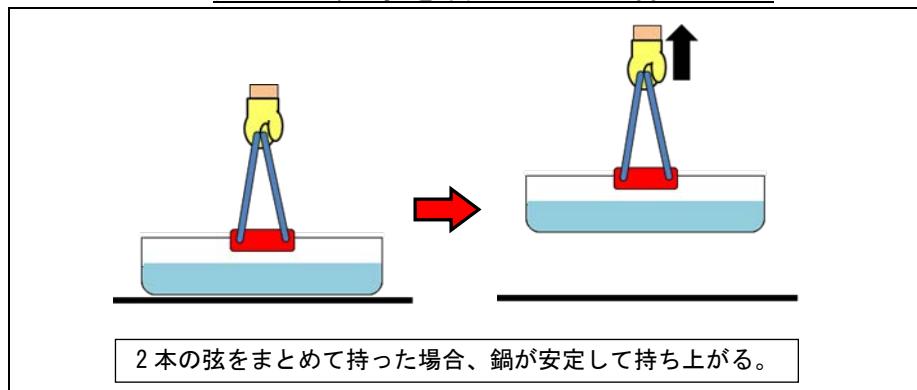
事故の際、鍋の 7~8 分目の位置に水面があったとのことから、当該品に 7 分目程度の水を入れた状態で、弦を左右に開き、それぞれを別の手で持ち、鍋を持ち上げたときの安定性についてテストを行いました。その結果、鍋を持ち上げると弦が回転して鍋が傾き、中の水がこぼれました。これは、2 本の弦を開いた状態では鍋が不安定な状態なため、水の入った状態で持ち上げたときに生じたわずかな傾きが、水の移動と共に大きくなったためと考えられました(図 2)。

図2. 2本の弦が開いた状態でそれぞれ別の手で持ったとき



なお、2本の弦を起こして鍋の中央でまとめて持った場合には、鍋は安定し、持ち上げても水がこぼれることはありませんでした(図3)。

図3. 2本の弦を中央でまとめて持ったとき



以上、当該品は機能に影響するような異常は確認されなかったことから、事故は2本の弦を開いた状態で別々に持ったため、鍋が不安定な状態となり、具材や水の移動と共に傾きが大きくなったことで発生したものと考えられました。なお、取扱説明書には持ち運ぶ際、2本の弦を一緒にバランスよく持つ旨の表示がみられ、この表示に従って持った場合には鍋が安定しました。

3. 消費者へのアドバイス

すき焼き鍋は2本の弦を両手で別々に持って持ち上げると鍋の中身がこぼれることがあるため、必ず2本の弦をまとめて持って運ぶようにしましょう。

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165